

1 議長挨拶

2 経過報告

- 1月22日 第69回連携会議
- 1月25日 石狩市公立小中学校事務職員協議会冬季研修会 資料・記録 HPアップ
2015管内研修会レポート HPアップ
- 2月 5日 石教振第三次研究協議会：各グループ 反省交流
- 2月 9日 就学援助事務市教委打ち合わせ 事務局・調査研修G 他

- 3 協議題1 平成28年度就学援助費について ～別紙1
(調査研修G提案)

- 協議題2 2015年度各グループ反省について ～別紙2

- 協議題3 今年度の提言について ～別紙3

4 実践交流

保護者向け事務だより（厚田小）

5 連絡事項

<別紙1> 平成28年度就学援助費について

前回の連携会議での就学援助担当者との話し合いにおいて、まだまだ課題があることが確認されました。また、引き取り品目について確認したいとの意向により集約してお渡した学用品の一覧について、本日も就学援助担当者が会議に参加していただけますので、チェックしていただいた学用品費一覧を一度返却いたしますのでご確認の上、時間を取りますので各校ごとに市教委と確認していただければと思います。

議案と一緒に配布しました来年度より認定通知書と一緒に配布する文書について就学援助の担当者より説明をしていただき意見交流したいと思います。

同様に議案と一緒に配布しました就学援助のフロー表について連携会議事務局より提案させていただきたいと思います。就学援助の手引きに先駆けてとりあえず一目で全体の流れが分かるように1枚にまとめてみました。見ていただいて意見をいただければと思います。

2015年度 研究部反省（アンケート集約結果及び見解 : 回答数 13件）

【活動計画】(1)「領域としての学校事務」をより、認知・定着させるとりくみに関わって

Q1, 今年度、各会員の日常実践を積極的に交流するための取り組みとして、全会員による「領域実践交流

シ

シート」の交流を始めましたが、今後の実践に役立ったものとなりましたか？

(8) 大いに役立った

(5) まあまあ役立った

() 役立たなかった

記述欄へ

() その他

記述欄へ

役立たなかった、その他に該当する場合は、以下にその理由を記載してください。

(記述欄・意見)・日々の自己満足、完結業務が一新されました。感謝します。

(見解) 今後の実践に役立ったという意見が多かったことから、次年度についても引き続き、交流を深めていきたいと思えます。ご協力、よろしくお願ひします。

Q2, 各種研究会（二次研究協議会 etc・・・）の参加体制確立は図られていたか？

(6) 参加体制の確立については十分に図られていた

(6) まあまあ参加体制の確立については図られていた

(1) 参加体制の確立については全部・一部に不十分さがあった

記述欄へ

() その他

記述欄へ

全部・一部について不十分、その他に該当する場合は、以下にその理由を記載してください。

(記述欄・意見)

- ・個々人の状況もあるので納得のいく参加体制はむずかしいと思うが追求していくしかないと思えます。
- ・欠席者の固定が顕著ですね。既得の研修です。各々自覚を持ち、大事にしましょう!!!

(見解) 各種研修会参加については基本的には個人の自由ですが、年に1度の研究を深める大事な機会と考えます。残念ながら最近では欠席者も多くなりましたが、過去の経緯や今後の研究を深める意味でも、積極的な参加を呼びかけて行きたいと考えます。

Q3, 夏季・冬季研修会に参加してみて、今後の実践推進に役立つ研修会となりましたか？

(6) 大いに役立つ研修会となった

(1) まあまあ役立つ研修会となった

() 役立つ研修会ではなかった

記述欄へ

(6) その他

記述欄へ

役立つ研修会ではなかった、その他に該当する場合は、以下にその理由を記載してください。

(記述欄・意見) 参加できなかった (6件)

(見解) 参加された方々は、それぞれ役に立った研修会との感想であったことから、今後もさらに内容を充実させ、研修会を企画していきたいと思えます。

参加できなかった方もいたようですが、比較的、都合が付けやすい長期休業中に、時間や内容の制約を受けずに研修を深めようということで行っていますので、部会同様、基本的には参加をお願いしたいと思えます。一人一人が石狩市の研修に積極的に関わりを持ち、それが管内・全道の研修の推進へと繋がっているという意識を持つことが大切だと思えます。

Q4、市内協議会や連携会議との連携は十分に図られていたか？

- (9) 十分に連携は図られていた
- (3) まあまあ連携は図られていた
- () 連携に不十分さがあった 記述欄へ
- (1) その他 記述欄へ

不十分さがあった、その他に該当する場合は、以下にその理由を記載してください。

(記述欄・意見)

・どこまでが市内協議会で、どこからが連携会議の業務なのか分からない。例えば、学校間連携会議で石狩市教育予算要望書とか協議会の予算要望部などどちらか一本化にできないものだろうか。

(見解) 研究部としましては、石事協との連絡、対応などで協議会、市内研究の深化、発展として連携会議、それぞれ連携を密に行ってきました。

協議会、連携会議のあり方については、各事務局で見解をお願いしたい。

【活動計画】(2) 各種レポート作成などについて

Q5、二次研究協議会等各種発表レポートについては研究部が主体的に作成しましたが、内容、作成、会員への周知などは適切であったか？

- (8) 内容・作成については適切で、会員への周知は十分に出来ていた
- (5) まあまあ内容・作成・周知は出来ていた
- () 内容、作成、周知について全部・一部に不十分さがあった 記述欄へ
- () その他 記述欄へ

レポートの内容、作成、周知について全部・一部に不十分、その他に該当する場合は、以下にその理由を記載してください。

(記述欄・意見)

(見解) 特に記述・意見欄の記述がありませんでしたが、石狩市では従前より連携会議での取り組みを市内研究と位置づけて行っているところではあります。

今後とも、石事協の研究課題及び市内独自テーマを基に研究を積極的に進めていくとともに、会員の皆様には経過・内容について随時お諮りし、市内全体のものとなるよう考えていきます。

予算要望部反省

- ① 予算要望書内で取り上げている項目（印刷関連費・各教科実験材料費の保護者負担・他団体（PTA等）からの負担・役務費）の、調査内容や調査方法は十分であったか？
（ 十分9 まあまあ十分4 不十分 その他 ）

ご意見がありましたら記載してください。

成果があがっているあがっていないはありますが、まずは地道に継続して行くことが何よりも大事なことなので、このまま継続していきたいと思います。

調査項目はこれくらいでいいと思います
各校の実態が把握でき、とても参考になりました
現状がみえるような工夫が必要かも
特になし

部の見解

これら調査内容や調査方法は継続していきたいと思います。

- ② 予算要望書で、他に調査したら良いと思われるものがありましたら、お書き下さい。
今年度なみで良いのではないかと思います。

特にありません

市町村の苦しい財政の中で、必要と思われるもの（学校運営に関わる教育予算）を根気よく要望していくことが必要

部の見解

今年度と同様で継続していきたいと思います。

- ③ 従来試みてきました各校印刷費のグラフ化はできませんでしたが、消耗品費に占める印刷費の割合が大きいことを働きかけるため、グラフ化とは違う方法で予算要望書に取り込む良い方法がありましたら、お書き下さい。

小学校小規模校、小学校大規模校、中学校小規模校、中学校大規模校の4グループに分け、印刷関連費の割合の平均データを取る。規模別・校種別で予算の逼迫の原因が印刷関連費なのか、それ以外の費目なのか見えてくる部分があるのではないかと思います（消費税増税時にどの程度印刷費が圧迫してくるかという資料にもなるのではないかと思います）。

一目見てわかるようなインパクトのあるものがないと思います。具体的な方法でなくて申し訳ありません

グラフ（数字）の根拠を示すのも良いのではないだろうか。ただただ印刷費の割合が多いといっても学校努力が足りないのではとの見方もできる。教育現場で他職種と異なり、莫大な量の印刷物があるというのを提示するのもありなのではないか。例えば職員1人につき一日平均〇枚印刷、それに職員数を掛けると一日あたりのコスト計算ができる。それを年間で試算するなど。そうすることで印刷費がいかに圧迫させているか示せるのではないか（石狩小）

パーセントで示すだけで十分だと思います

今までどおりの一覧表と割合で十分と思いますが。学力向上などで印刷経費は年々増加していると感じています

- ④ 上記以外に何かありましたら、以下に記載してください。

消費税が10%になった場合に、学校配分予算において逼迫される費目が出てくるのが考えられるが、それについて各学校でその段階である程度具体的に洗い出してもらい、予算要望書

に盛り込んでいけたらと思いますがいかがでしょうか（ただし、すべての費目を洗い出すと膨大な量になってしまうので、いくつかの費目に絞って調査する必要はあるかと思います）。

お疲れ様でした

お忙しいところありがとうございました

お疲れ様です。一年間ありがとうございました

特にありませんが、プリントフリーについて寺下さんの北中での報告でもありましたが、市内で導入されている他校での予算削減の額や教員の対応、プリントフリーの担当者などを聞いてみたいです。導入したい学校が結構あると思いますので。予算要望部ではないかも知れないのですが・・・

連携会議の研究グループにも書いたのですが、どこまでが市内協議会で、どこから連携会議の業務かがわからない。例えば学校間連携会議で石狩市教育予算要望とか、協議会の予算要望部などどちらか一本化にできないものだろうか

③と④に関連して部としての見解

従来は過去の印刷関連費の占める割合を示してきましたが、消費税が10%に増税になることも踏まえて、増税後も増税前と予算額かつ印刷関連費の割合が変わらなかった場合、当然増税分印刷関連費の占める割合は増え、他の予算費目が逼迫することになると思われる。

増税前、増税後それぞれ数値やグラフ等で示し、比較をすることによってますます学校配分予算は逼迫していくことを要望書に盛り込んでいければと思います。

予算要望部に関する業務については、協議会では予算要望委員会への出席、話し合いの内容の会員への還元、連携会議では予算要望書に盛り込む調査内容の検討や、依頼実施などそれぞれと連携をとり行ってきました。

この反省意見は各部で検討することではなく、協議会や連携会議事務局から見解を伺い会員全員で検討する事項ですし、昨年度も同様の意見を出されて各事務局から見解が出されているかと思ひます。

平成27年度 調査研修部反省集約

1 他支部交流について

- ① 今年度は、ふらのフォーラムを他支部交流に含め実施をいたしました。時期・内容も含めてご意見がありましたらお書き下さい。

意見

- ふらのフォーラム以外の他支部交流を取りやめた事について、計画、見通しが非常に甘すぎる。秋口はお互い繁忙であることは明らかなので、早めの視察先の検討、確保、連絡、内容調整などに努めるべきである。
- 状況的に厳しければ、他支部にこだわることなく、近隣視察でも良しとするなどの英断も必要。会員全体での行動は、より良い親睦と交流にもつながる。
- そんなこんなで（※上記の2件）、今年度は非常に残念だった。
- 会員からのアンケートは早めにとったはずですが、その後の動きが遅すぎたために実施に至らなかったと思う。
- 無理やり「ふらのフォーラム」を他支部交流の充てるのはいかなものか。
- どのような意図で実施しているのか。
- ふらのフォーラムは参加者がほぼ決まってから他支部交流の扱いにしていたと思うが、無理に設定するのであれば今年度は他支部交流を実施しないという選択肢もあったのではないか。
- 毎年必ず実施しなければならないのか。
- ふらのフォーラムは別の物と考えてはどうですか。今回は良しとしても。
- ふらのフォーラムはだいたい時期が決まっています。
- 内容は上川の教育環境整備と末富先生の子どもの貧困と向き合う学校の役割、それらを受けたパネルディスカッションと充実していました。
- 大変刺激になりました。ありがとうございました。
- 来年度も同様をお願いします。
- 良かったと思います。
- 特になし。（3件）

見解

概ねフラノフォーラム以外に他支部交流を実施できなかったことが多くみられました。次年度は、他支部交流について、方向性を検討し調整していきたいと思います。また、フラノフォーラムは、他の管内の様子など、大変勉強になるので今年度と同様に他支部交流に含め、参加できるよう調整していきたいと思います。

② 次年度も他支部交流について時期・希望内容・希望地等（学校）ありましたらご記入願います。

- ・時期について （時期は 月頃、）
- ・内容について （内容 について）
- ・希望地について （希望地 ） （ 学校）

その他、ご意見としてありましたらお書きください。

意見

〈時期について〉

- 7月か9月頃。 ○夏休みまで、遅くとも9月頃。
- 8月頃、夏季休業中が動きやすいです。

〈内容について〉

- 学校間連携。

〈その他〉

- 他支部交流は無理に計画しなくても良いと思います。
- 計画当初や反省でアンケートをとり、さらに部会でも話し合い意見があがっていましたが、これらの意見は反映されているのでしょうか。
- もう少し早く計画し、実施することは難しいですか。
- 希望は特にありませんが、実施するのであれば、皆さん万障繰り合わせて参加しましょう。
- 他支部交流の目的等をしっかり話し合い、今後を考えてもいいのでは。
- ふらのフォーラムを含めて考えると、もう1回実施した方が良いと感じました。
- 場所は他支部が難しければ、管内でも良いと思います。
- ふらのフォーラムで良いのではないかと。
- 今年度アンケートをもとに時期・内容を検討してきましたが、石狩市の学校間連携のメインは、保護者負担軽減をもとに活動しているし、また石狩市事務職員研修会のテーマと合わなくとも他支部交流の枠を広げてみるのもいいし、ということを確認しているので、アンケートをとる時間をそのまま、他支部交流の選定する時間にすれば、もっと早く選定できるかもしれません。
- ただし、現在の選出方法は知り合いの学校にアポを取るような感じで行っているので選定される学校は少なくなるでしょう。
- 特になし。（3件）

見解

これらについても前の見解と重複しますが、他支部交流について時期・内容等、方向性を検討し、調整していきたいと思います。

2 講演会・出前講座について

- ① 今年度、出前講座として9月3日「石狩市の台所事情（市の財政と課題）」をおこないました。日時・内容は適当であったか、何かご意見ありましたらお書き下さい。

意見

- 昨年度の反省を生かし、早めに取り組んだので良かった。
- 日時・内容とも良かった。
- 良かったのではないですか。
- 市の状況について知ることができ良かったです。
- 良かったと思います。
- 日時はよいと思います。内容は学校財政に関することがよいと思いました。
- 来年もお願いできればと思います。
- 初めて財政の話を伺ったので今回の内容で良かったと思います。
- 次回以降実施するのであれば、もう少し教育財政について細かい話を聞いてみたいです。
- 過去、現在、未来へと台所事情が分かり良かった。暗澹たる気持ちにはなったが・・・。
- 日時・内容は良かったと思いますが、せっかく財政課の方が来られたので、予算増額にむけた要望の在り方の話を聞けたら更に良かった。
- 特になし。（2件）

見解

概ね良いという回答が多くありました。
日時・内容も適していたと思います。

② 次年度講演会・出前講座を実施した方が良いかどうか、記入願います。

- ・実施した方が良い (時期は 月頃、) (内容 について)
- ・実施しなくても良い
- ・どちらともいえない
- ・その他意見としてありましたらお書きください。

意見

○実施した方が良い (4)

〈時期について〉 ○9月頃

〈内容について〉 ○できれば学校事務にかかわるもの

○実施しなくても良い (2)

○どちらともいえない (3)

○日程調整が厳しいのであれば、他支部交流か講演会・出前講座かどちらかの実施でも良いのではないかと。

○事務センターの見学がしたい。どのように業務しているのか、お互いの業務をよりスムーズに進められるためにはどうしたらやりやすいかなどざっくばらんな話ができれば良い。

○例年どおりアンケートを行い集約・話し合いも行うべきだが、次年度好ましいものや時流に合ったものが見つからない場合は見送っても良い気はする。その分他の『研修』を行ってよいと思います。実務研、制度改正など。

○講演会と他支部交流を隔年で実施できたらいいと思います。

○実施するとしたら、今年度のような内容ではない方がよいと思います。(学校事務職員に関わりのあることがよいのでは?)

○講師の方の都合もあると思いますので、こちらと講師の方の都合が折り合うところで行ったほうがいいかと思います。

○毎年実施になくても良いと思います。

○特になし (2件)

見解

概ね実施した方が良いとの回答でしたが、先方との日程調整、講座・講演の内容等、また講演会を行うか、出前講座を行うかについて、どちらか一方を実施していきたいと思います。

3 学校事務改善について

今年度、「就学援助の手引き」の改訂にとりくんできました。

現段階では、完成はしていないものの次年度も市教委と連携をはかりながらすすめていきたいのですが、何かご意見があれば、お書きください。また、事務改善の一環として取り組む課題等がありましたらご記入ねがいます。

意見

- 目安となるものがなかったようので、改訂はよかったと思います。
- このまま続けて良いものとしては。その後、考えてもよいのでは。
- 今後学校数が減り、事務職員の人員が減ることと思います。手引については誰が見てもわかりやすい内容であればいいと思います。
- 一部取扱いが変更になるため、その部分を含めて次年度さらに作業をすすめていけたらと思います。
- よかったと思います。
- 調査研修部所属ですが、自分自身あまり貢献できなかった。ひとりに負担がかからないように、分担した方がよい。
- 作業自体が遅れてしまい、皆様にご迷惑おかけして申し訳ありません。
- 両事務局ばかりの動きが目立ち、調研部の関わりがよく見えなかった。
- 今後の関わり、とりくみなどについて方向性は？市教委折衝は事務局？手引き改訂などは調研部？
- 特になし（4件）

見解

概ね就学援助の手引きの改訂に取り組めてよかったとの回答でした。しかし一部取扱いが変更になった等、詳細の部分について今後も詰めていく必要があります。また協議会事務局と連絡・調整をして完成に至りたいと思います。

4 その他、上記以外に気が付いた点がありましたら、お書き下さい。

意見

- 他支部交流や出前講座などの外部との調整が必要になるものについて、毎年動きが遅い。アンケートを実施するならば、責任をもって計画すべき。
- 調査研修部の引継ぎはできているのか。例年同様の反省があがることのないように改善すべき。
- おつかれ様です。いつも他支部交流や出前講座を決めるのに大変そうだと思っていたので。
- お忙しいところをありがとうございました。
- 一年間お疲れ様でした。
- お疲れ様でした。
- 協議会の業務反省の中で「就学援助手引については事務局長としてではなく、調査研修部員の担当として行ってきました。」と書かれていました。人員が少ない中、いろいろと働きかけていただき、ありがとうございました。

見解

他支部交流・出前講座等、外部との調整が必要になるものについて動きが遅かったと思います。次年度は今年度の反省を踏まえて調整を図っていきたいと思います。

提言 17 就学援助費の支給について

提言内容

1. 就学援助費の支給について、当分の間、引き去り項目など効果的に執行出来るように教育委員会として検討すること。
2. 各学校は、保護者負担軽減の観点に立ち学用品費の精選に努めていくこと。

石狩市では、市の就学援助事務電算システムが2015年度から更新される事となりました。これにもない、それまで石狩市協議会・連携会議でとりくんできた就学援助費の支給に関する課題に関して、新しい方式の導入が可能になることが考えられたことから、市教委と打ち合わせを行いながら更新に備えることとなりました。

就学援助事務電算システムの更新にかかわって市教委から、就学援助費の保護者への支給方法が変更可能になるため、就学援助事務担当者の意見を聞きたいとの話があり、「就学援助（事務）に関するアンケート」を実施しました。このアンケートのポイントは、これまでも市内で課題になっていた、学校徴収金の未納を改善する手立てとして、6月に市教委から保護者へ一括で支給されていた学用品費について未納の場合の差し引きを含めて検討する、というものです。

アンケート集約を行った上で定例会に市教委と意見交換を行いました。その際に就学援助の学用品費だけでなく児童手当の方からも未納金を引き落とすこと一緒に考えていきたいと思いますとの市教委からの提案もあり取り組んでいく事となりました。

昨年度の市事協夏季研修会（2014.7.25）において子ども手当から未納金を徴収できる条例が制定されている市町村について交流するとの観点から、北斗市と白老町の条例を取り寄せ、また、北斗市と白老町の事務職員から現状をお聞きし交流いたしました。

次に、市事協で「就学援助（事務）に関するアンケート結果の考察」をまとめ協議会および連携会議の役員と市教委の担当者と交流の場を別途設けて交流しました。その際に市教委より「平成27年度 就学援助費及び被災児童生徒就学援助費の取扱いについて」との文書の提案があり市教委のスタンスについても交流を行いました。

そこにも記されていますが多くの諸問題を解決しなければならないことが見えてきました。また、市事協内部の意見も十分にまとまりきらなかったことから、2015年度当初の新しい就学援助システムの稼働までに問題を解決するのは困難との見解によりもう一年間時間をかけながら取り組むこととしました。

また、2016年度より学用品費の引き去りが可能となります。引き去りが不可能な項目も存在しただまだ課題の残る運用開始となってしまいます。今後も市教育委員会と連絡を密にしながら準要保護家庭が不利にならないように運用して行かなければなりません。事務職員はこれまで以上に保護者負担軽減に努めていくことが必要となります。

提言 18 バス代の補助について

提言内容

1. スキー学習のバス代は補助限度額の上限の引き上げおよび2回のスキー学習分のバス代を確保すること。
2. 部活動の遠征に係るバス代補助についても、補助金交付要綱の改定、スクールバスの弾力的運用の検討すること。
3. 各学校は、就学援助上限額などを考慮しながら旅行行事のあり方を考え、貸切バスの台数など保護者負担軽減に努めていくこと。

2014年度から全国的に貸切バス代の値段が高騰しています。2014年度は2013年度契約分に関しましては前年度のバス代金で修学旅行や見学旅行を行う事が出来ました。2015年度からは全ての貸切バスが新しい契約の代金において学校行事が行われました。

石狩市の連携会議は、日刊連携会議No.115において「部活動遠征バス代の実態調査」を行いました。スクールバスを利用できない学校においては全校で前年よりバス代金が高くなり、保護者負担が増えている現状が報告されました。

その中では、中学校関係では、部活動における遠征費が各校軒並み不足している状況になっている事が分かりました。部活動運営費の値上げやPTA一般会計・特別会計からの繰り入れなど各校苦勞している現状が課題となりました。

小学校では、スキー学習のバス代について補助限度額上限では1回のスキー学習のバス代としても不足し、また、スキー学習を2回行っている学校においては、1回分は全額、保護者が負担している現状が報告されました。

教育課程に位置づけられているものについては保護者負担ではなく公費からの全額支出を求める声も実態調査から要望としてあがり、中学校では、「石狩市中学校体育連盟補助金交付要綱」で大会参加に係る経費の補助について定められていることから要綱の改定およびスクールバスの弾力的な運用から部活動遠征費の削減に繋がればと思います。同様に、スキー学習のバス代の補助限度額上限の引き上げとスキー学習を2回行っている学校においては2回分の補助が行われるようにならないかと考えます。

事務職員はこれまで以上に、就学援助上限額などを考慮しながら旅行行事のあり方を考え、バス会社の精選やバスの台数など保護者負担軽減に努めていくことが必要となります。